

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「絶品カレーパン」
- 4 特集1「ゼロカーボン宣言」
- 8 特集2「令和4年度当初予算」
- 12 報告「3月議会定例会」
- 14 報告「3月16日福島県沖地震」
- 15 おしらせ「令和4年度役場情報」
- 19 ほけんとふくし「コロナワクチン」ほか
- 20 飯館百景「春の幕開け」
- 22 学びの広場「卒業式・卒園式」ほか
- 24 いいたて便り
- 26 話題のパレット
- 27 はなれていても／ふれ愛館だより
- 28 おしらせのページ
- 29 おしらせ「暮らしの情報」
- 30 いいたてDIARY／までの食卓
- 31 ふるさと資源／ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

今月の話題  
vol.23

村の食材を生かした絶品カレーパン

「わくわく推進協議会」のメンバーがオリジナルカレーパンの試作に挑戦！

力を合わせて  
挑戦しました

「ふるさと」の担い手の皆さんのアイデアを事業につなげようと、昨年10月に村が立ち上げた『いいたてわくわく推進協議会』。村の食材を使う事業を話し合う中で、メンバーの1人、「村カフェ753（なごみ）」の田中久美子さんを中心に、オリジナルカレーパンを試作するプロジェクトがスタートしました。試作は、明治大学が昨年完成させたカレーパンレシピの活用も担いました。

牛肉カレーパンは、ニラやホウレンソウを使ったグリーンカレーで。

村産牛肉を味わうリッチなカレーパンに仕上がりました。雪つ娘カレーパンには、「までい工房美彩恋人」（渡邊とみ子代表／前田・八和木）の雪つ娘カボチャのペーストを使用。可能性や課題を探る本格的な試作に発展しました。「せっかくここまでできたので商品化したいですね」と田中さん。推進協議会の大井利裕会長（草野）は「今回1つの形にできたようにまずは自分達がやってみて、続く人の手助けやアドバイスができるようになれば」と話していました。



素材を生かしたい…アイデアを出し合いながら



川崎 弘子さん  
(深谷)  
栄養士として  
カレーの助っ人

山田 豊さん  
(関根・松塚)  
村内生産の  
牛肉を提供

大内 亮さん  
(八木沢・芦原)  
商工会として  
も助言・協力

田中 久美子さん  
(深谷)  
工夫と熱意で  
開発を牽引

安齋 香さん  
(飯館村社会福祉協議会)  
笑顔で何役  
もこなします



試作は「村カフェ753」にて定休日に何度も重ねられました。上の写真は2月26日のひとコマです。右のカレーパンは、山田豊さんが生産した飯館育ちの牛肉を使っています。緑の野菜を効かせたグリーンカレーは辛さひかえめで、牛肉を味わうぜいたくなカレーパンになりました。

試食会



3月13日、午前・午後の2回に分けてカレーパンの試食会が開かれました。右の写真は午後の部で、杉岡村長や地域おこし協力隊も参加しました。



今月の表紙  
「いいたてわくわく推進協議会」の話し合いから生まれたプロジェクト。村の食材を使ったオリジナルカレーパンの試作が行われました（隣の記事を参照）。試食会では参加者がアンケートに答えたり意見を交わしたり。新しい挑戦に多くの人が思いを重ねました。表紙は、試食会に飛び入り参加してくれた子ども達の1人、齋藤あさひちゃん（白石）です。とってもおいしいような笑顔ですね。